

プログラムの目標

データサイエンス・AIに関する基本知識や、データの可視化・分析の基本を修得することで、ビッグデータや様々なリソースを最大限に活用し、課題を解決したり、社会や仕事、商品やサービスを変えていく力を身につけるための基礎力を養う。



特色のある取り組み

- ・実データを用いた実践的な学び
- ・アクティブラーニング、課題解決型学習の活用による主体的な学び
- ・BYOD、LMSを活用した学修・サポート
- ・オープンバッジによる修了証発行（予定）



授業概要

- ・データ・AIがどのように活用されているのかを学ぶ。
- ・様々なデータを扱えるように、多様な課題で演習する。
- ・学んだことをふまえて、データサイエンスとAIを使って、ある問題を解決する方策案を発表する。



プログラムの学修成果（学生が身につけられる能力）

- ・データサイエンス・AIの基礎を理解し、利用に際して留意すべき点を説明できる。
- ・データ・AIがどのように活用されているかを理解し、実社会での意思決定等に活用されていることを説明できる。
- ・データの可視化・分析の基本を修得し、実データを用いた応用ができる。



教育体制 本プログラムの推進にあたっては、基盤教育機構と教学委員会（および関連ワーキンググループ）が連携して、プログラムを改善・進化させるための検討・分析を行い、PDCAサイクルに沿った教育改善を推進する。

